

## 7月10日(月) その41 ウチナーグチは交流国の言葉のチャンプルー

先週から検証授業が始まりました。皆さんの6か月の研修生活の中で、大きな山場「天王山」と言えますね。校長、教頭をはじめ多くの人に関わっていただき動いてもらうからです。今週授業をする3人、頑張りましょう。

さて、この前テレビの歌番組にディーン・フジオカが出ていました。英語も中国語もインドネシア語もペラペラなのだそうです。実は私もバイリンガルなんですよ。日本語と琉球語の……。 (笑)

沖縄の方言には万葉の時代の古い日本語が保存されています。いにしへの琉球国を作った人々は、南九州方面からやってきたと、多くの学者が指摘しています。琉球王国ともいいますが、正式には琉球国です。琉球国は、日本や朝鮮、中国や東南アジアの国々と貿易をして栄えていました。人が行き来する長い交易の中で、関係国の言葉が沖縄の言葉の中に取り入れられました。

自分のことを「ワン」(中国では「ウォー」)と言いますね。赤ちゃんのことを「ボーボー」(中国ではパオパオ)。グアバのことを「バンシルー」(ファンシルー)。お腹いっぱいのこと「チュファアラ」(チューパオラ)。ジャスミンティーは「さんびん茶」(シャンピエンチャー)。

「タウチー」(闘鶏)、マヤー(猫)なども、元々は中国語です。ウー(豚)も、中国語っぽいですね。また「チュブル(頭)」、「グテー(体格)」、「ガマク(腰)」などは、音的には日本語や中国語ではないような気がします。「チャンプルー」はインドネシア語で、「ゲレン」とか「パタイ」は、フィリピンの言葉と聞いたことがあります。またウチナーグチでは母親をアンマー(韓国語でオンマ)。万国津梁の鐘には、「三韓の秀を集め」という言葉が出てきます。これは「朝鮮の優れた物がたくさんある」という意味です。

民謡の「安里屋ユンタ」に、「マタハーリヌ チンダラ カヌシャマ ヨー」というハヤシがあるが、これはインドネシア語で「太陽は等しく我々を照らしてくれる」という意味だとある友人が教えてくれました。私は初耳だったのでネットで検索してみた。「マタハーリヌ チンダラ カヌシャマ ヨー」は、「マタハリ」、「チンダ」、「ラカヌ」、「シャマ」と区切ると、マタハリ(太陽)、チンダ(愛する)、ラカヌ(国民)、シャマ(全て)という意味のインドネシア語で、「太陽はすべての国民を愛する」という意味だとあった。

いくつか説はあるのだろうが、私はとてもしっくりするような気がした。

遙か遠い縄文時代の日本人は、フィリピンやインドネシアなどの南方から日本に入ってきて、全国に広がったと言われていています。日本語の「火がメラメラ燃える」の「メラ」という言葉。南方では「赤」という意味で、「目」のことを「マタ」と言うようである。日本語の「まぶた」、「まつげ」、「まゆげ」、「まなこ」、「まのあたり」などの目に関することばが「ま」から始まるのは、南の方からやってきた人たちの名残なのかも知れない。

ミトコンドリア DNA を調べると、アフリカを出で人類が分散してきた歴史がわかると前に話したね。なんとウチナーグチからも、沖縄に住む人々の他国との交流の歴史を読み取ることができるのです。3万年以上前に南方から渡ってきた人々、南九州方面から南下した人々、中国などから帰化した人々……気が遠くなるような長い時間をかけて沖縄の祖先たちが他国と交流を重ねてきた痕跡が、チャンプルーになって存在しているのです。

## 7月11日(火) その42 ブログやSNS等での誹謗中傷

平成9年、私は筑波での「教職員等中央研修講座」を受講した。40日の研修で一日だけ東京での歌舞伎見学があった。幸四郎や勘九郎、玉三郎と新之介などが出演していた。妖艶な女形の玉三郎もよかったが、私は若い「新之介」という役者に、ものすごいオーラを感じた。歌舞伎役者は出世魚のように次々と名前を変えていく。新之介の今の名前は、市川海老蔵といます。

市川海老蔵の奥さんの小林麻央さんは、乳がんを煩っていました。最初は非公表でしたが、2016年6月に公表しました。麻央さんは9月から「KOKORO.」というタイトルでブログを開設し、闘病生活を公開しました。ブログには麻央さんの352本の投稿があるようです。病気の痛み、治療の苦しみ、妻として母としての役目をまっとうできないもどかしさ……赤裸々な闘病生活のブログは、多くの人々に勇気を与えました。小林麻央さんは6月下旬に亡くなりました。海老蔵さんもブログを開設しており、妻への想いや子ども達のことなど、毎日のように更新しています。

ブログというのは、weblog（ウェブログ）の略称で、インターネット上に残す記録という意味のようです。ブログは、インターネットを通して誰でも自由に見ることができます。平成21年（2009年）時点における調査では、日本国内で1,690万のブログが開設されているそうです。（総務省の「ブログの実態に関する調査研究」より）。しかし海老蔵さんや麻央さんのブログのように、みんなが好意的に見てくれるとは限らない。

ブログやSNSなどに誹謗中傷、批判的コメントが集中し、閲覧・管理機能が損なわれてしまう状態を「炎上」といいます。著名人のサイトでの発言やマスコミ報道などがきっかけとなり、炎上状態になることが多く、特にこの10年ほどで、社会問題化するようになっていきます。

先週4日（火）の新聞にACジャパンの「桃太郎でネット炎上を描く広告」が掲載されていました。これですが、見ましたか？（新聞を見せる。）

真ん中に大きな桃とおばあちゃんの絵があり、「むかしむかしおばあさんが川で桃を拾うと、……批判の声が殺到しました？」とあります。そして広告欄の全面が苦情で埋め尽くされています。

「窃盗だろw」、「警察に届けられないの?」、「謝れ! 謝れ!」、「桃の気持ち考えたことがあるのか!」、「他にも悪いことしてるんじゃない?」、「っていうか、川で洗濯するなよ、常識なさすぎでしょう。」などのコピーであふれかえっている。下の方には「悪意ある言葉が、人の心を傷つけている」と大きく書かれ、「SNS投稿から、有名人のスキャンダル、企業活動まで、苦情が殺到し炎上することが多い日本。中には当事者の心を執拗に傷つける言葉も。声を荒げる前に、傷つく人がいないか考えませんか。」と結ばれている。

ネットの「情報空間」では、誰にも知られずに人の悪口が言えて、その結果どういふ騒ぎになっているのかを、のぞき見することができるのだから、「他人の不幸は蜜の味」なのだ。自分の境遇に比べて明らかに幸福そうな相手が何かミスをする、と、やっかむ気持ちも多分に含まれ、誹謗中傷に走る。

某国の大統領ですら、ツイッターなどで暴言の吐き放題なんだから、残念ながら暴言、誹謗中傷がなくなることはないだろう。ブログやSNS上で不特定多数に個人情報発信する場合は、当然そのリスクも計算すべきである。

## 7月12日(水)その43 波が来たら乗れ、乗るからにはうまく乗れ

9日(日)投開票の那覇市議会議員選挙は、城間幹子市長を支持する与党が過半数に及びませんでした。東京都の小池百合子知事の率いる「都民ファーストの会」が、安部総理の強行的な国会運営や自民党議員の不祥事という追い風を受けて、地滑りの的に圧勝したのとは対照的な感じがした。

ネットニュースでは、「就任後初の市議選で与党が過半数を獲得できなかったことは、城間市政に厳しい評価が下されたともいえる。与党が議席を減らしたということは、今後野党や中立組からの攻勢が激しくなることを意味する。城間市長は厳しい市政運営が迫られる。」という意味のことが書いてあった。

城間幹子市長は、私が義務教育課の指導主事になった平成11年(1999年)に、那覇教育事務所の主任指導主事をしていた。その後、鏡原中の校長や在外の日本人学校の校長、那覇市の教育部長、教育長を経て副市長、そして那覇市長と、とんとんとんと上り詰めた方だ。

私は特に親しくしていたわけではないが、この20年間あちこちの会合や大会等でお会いして、あいさつを交わす程度の間柄であった。

城間幹子さんが、とても大切にしてきた言葉が、「波が来たら乗れ、乗るからにはうまく乗れ！」である。

彼女はその言葉を胸にいろいろなことに一生懸命に頑張ったので、現在の地位があるのだろう。もちろん翁長・元那覇市長(現知事)とは、中学からの同級生とかで、とても信頼されていたという運も働き、後継者に指名されたものと思われる。でも彼女のプラス思考で一生懸命に取り組む姿勢が、運を呼び込んだと言えるだろう。

「努力は人を裏切らない」という言葉は、必ずしも正しくはない。しかし「成功した人は、必ず努力をしている」ということは確かである。

チャンスが来たら、尻込みせずに、プラス思考で頑張ることが大切なのだ。

私自身、マンモス中だったA中勤務の3年目、まだ力量がなく悪戦苦闘している時代に、「研究主任をやってほしい。」と言われて、引き受けた話をした(その17参照)。だから、「波が来たら乗れ、乗るからにはうまく乗れ！」という言葉は、ストーンと心に落ちる。

皆さんも校長や教頭から「これをやってくれないか？」と言われたら、自分の力を伸ばすチャンスだと考えて、頑張っただけでいい。少し頑張ればできると思うから、声をかけるのである。どうすれば教員としての力量が高まるかは、仕事が教えてくれる。

稲盛和夫は「生き方」という世界的なベストセラー本で(人生・仕事の結果) = (考え方) × (熱意) × (能力) であると言っています。しかも「熱意と能力」は100点満点だが、考え方は(-100点)から(+100点)までの200点満点であると言っている。つまりいくら熱意や能力があっても、考え方がマイナス思考や間違っただけであれば、ダメなのである。

チャンスは準備して待っている者にしか訪れない。棚からぼた餅が落ちてきても、準備して待っていなければ、ぼた餅は地面に落ちて腐ってしまうだけである。

波が来たら乗れ、乗るならうまく乗れ!!